

『さよならの手ほどき』小林貴子

お別れね
振り返らずに行くわ
未練が無いとは言わないけれど
部屋の鍵はここに置いて行く
怖がらないで 連絡はしないから

さよならは、いつも 突然で
心の準備ができないって言うけど
本当は 分かってた
ため息で 気付いてた
終わりの予感

お別れね
振り返らずに行くわ
奇跡がないとは、言えないけれど
傷の跡もここに置いて行く
怖がらないで 誕生日は忘れるから

迷ってたはずなのに
夢のよう消えていく
二人の余韻

冷めた珈琲 もう要らない
唇 微笑みに変えて
言葉は "ありがとう"
けそうな胸 気づかれないように
伝えるのがさよならの手解き

コンパス もう効かない
尖ったプライド 邪魔になるだけ
最後の優しさ"ありがとう"
握りしめた夢 気づかれないように
手放すのがさよならの手解き

